

# いまさら人に聞けない円高の話 「なぜ、円高なの？」

戦後最大の円高が日本企業を苦しめています。景気が長期にわたって低迷し、国の借金が膨大にもかかわらず、なぜ、未曾有といわれる円高なのでしょう。

※本原稿は、平成23年10月7日までの情勢に基づくものです。

## 急激な円高は 欧米の財政危機が発端

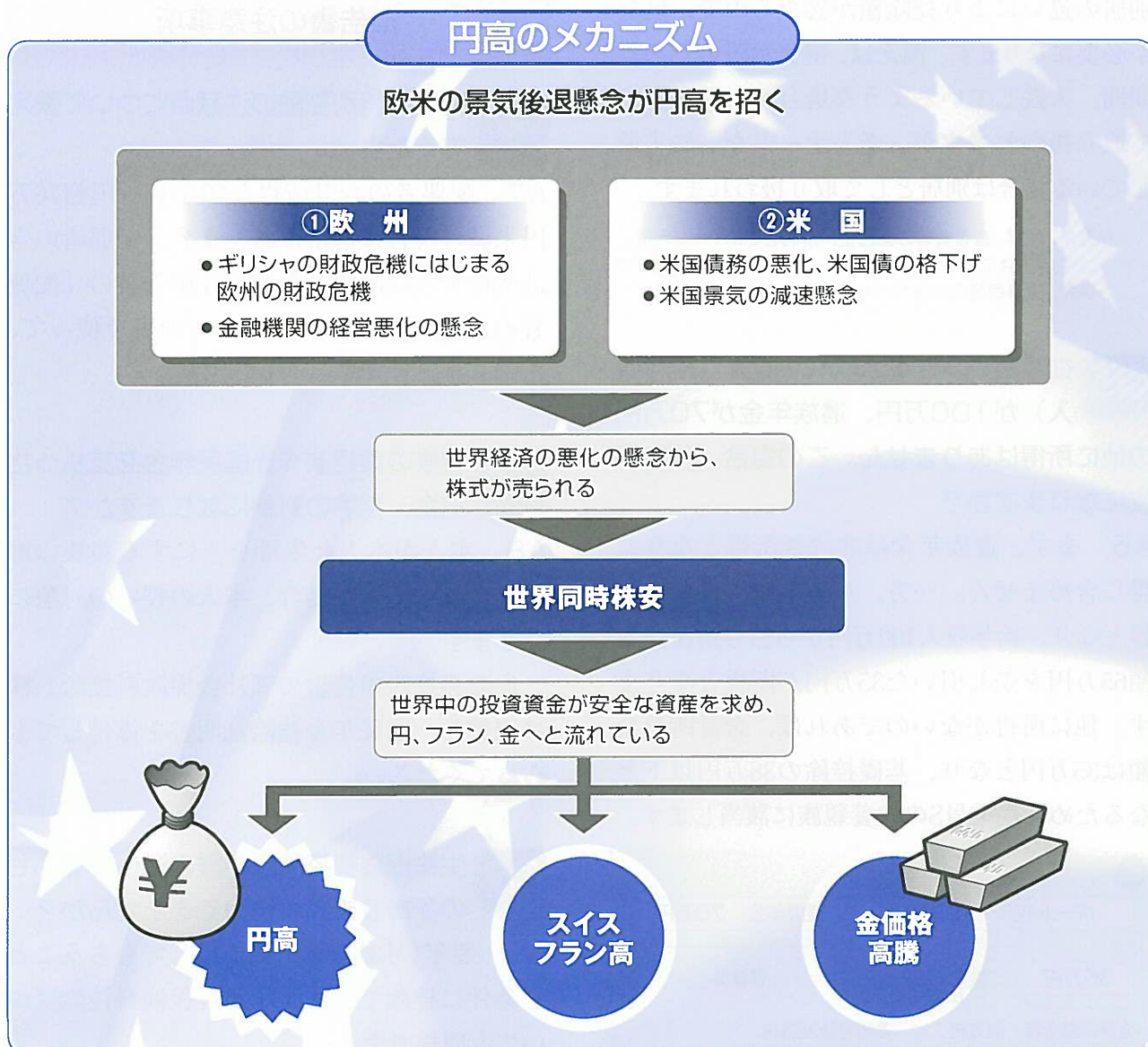
2008年のリーマンショック後の世界同時不況の際、先進各国は大規模な景気刺激策を実施しますが、同時に財政赤字が拡大しました。

そして、ギリシャの財政危機に端を発し、欧州の財政危機、さらに米国の財政赤字の悪

化と景気減速の懸念が、現在の急激な円高の原因になっています。(下図参照)

### ①ギリシャに端を発した欧州の財政危機

巨額な財政赤字を抱えるギリシャの国債にデフォルト（借金を返済できない）の危険性が高まりました。アイルランドやポルトガルも財政危機に陥り、多額の借金を抱えるイタ



リア、スペインの国債の信用不安へと波及しました。もし、これらの国々の国債が返済不能となれば、国債を保有する金融機関の経営が悪化し、欧州の景気が悪化するという不安が広がったのです。

### ②米国債の格下げと景気減速の懸念

リーマンショック後の景気刺激策は、米国の財政赤字を3倍にまで増大させ、議会が定めた債務の上限を引き上げざるを得なくなります。これは、財政赤字の深刻さを物語る結果となり、世界一安全といわれた米国債の信用格付けが最上級から一段階引き下げられ、米国債とドルの信用が低下することになります。さらに、依然として失業率が高く、住宅価格も低迷するなど、景気の減速が懸念されています。

### ③欧米の景気減速がどうして円高を招く？

欧米の景気減速への懸念は、世界的な景気悪化による株価暴落への不安につながり、世界中で株式が売られ、世界同時株安を引き起こしました。そして株式を売った資金は、より安全な資産を求めて、日本の円とスイスのフランや金に集まっています。

しかし、国の債務が800兆円を超え、長年、景気低迷で苦しんでいるわが国の円が、なぜ安全なのでしょう。

それは、**日本の経常収支が黒字（経常黒字）**だからです。日本は輸入より輸出が多く、支

払額よりも受取額が大きい、言い換えると日本の国外に出て行くお金よりも、入ってくるお金のほうが多いということです。

そのため、経常黒字国である日本の円は比較的安定とされ、ドルやユーロを売って円に替えたい人が急増し、円の価値が上がって、ドル安、ユーロ安、円高になっているのです。スイスのフラン高も同じ理由です。

## 円高の長期化は 中小企業に深刻な影響

円高になると、輸入関連産業や海外旅行などが恩恵を受ける一方、自動車、電機、鉄鋼など輸出関連産業には悪い影響があります。日本は、輸出中心の産業ですから、海外に同じ物をお金で買えば、円高よりも円安のほうが良いのです。

現在の欧米の状況から、円高は当分続くと予想されます。円高の長期化は、中小企業の収益に深刻な影響を与えるとともに、産業空洞化に拍車がかかるおそれがあります。

経済産業省の調査（平成23年9月1日公表）では、中小企業の円高対策として最も多かった回答は「コスト削減」となっています。

また、業績への影響として、現在の円高水準（1ドル＝76円台）が半年以上続くと、中小企業の3分の1が、前年対比で20%以上の減益になると予測しています。



### 今月のワンポイント実務…………… 労務

#### 円高の影響を受けた事業主に中小企業緊急雇用安定助成金の特例が設けられました

円高の影響を受けた事業主が中小企業緊急雇用安定助成金を利用する場合、支給要件について次の特例が設けられました（利用する対象期間の初日が平成23年10月7日以降であること）。

- 円高の影響で、最近1か月（通常は3か月）の生産量、売上高などがその直前の1か月（通常は3か月）または前年同期と比べ、原則として5%以上減少する見込みであること（従来は、実際に減少していること）。

なお、助成率、支給額は従来どおりです。

- 休業手当を支払った場合 80%（一定の場合は、90%）を助成 ※1日7,890円が上限
- 教育訓練を実施した場合 1人1日あたり3,000円または6,000円を支給（教育訓練の内容などで異なる）

※詳細は、厚生労働省パンフレットをご覧ください。

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000001qvft-att/2r9852000001qvha.pdf>